

モデルルーム内の平面見取り図及び概要



介護用椅子と手すりを設置した浴室



アームレストを設置したトイレ



壁際に後付けの手すりを設置



生活空間や動線に合わせて手すり・ベッドを設置



片手での家事を補助するアイテム

在宅療養・介護・リハビリモデルルームのご案内

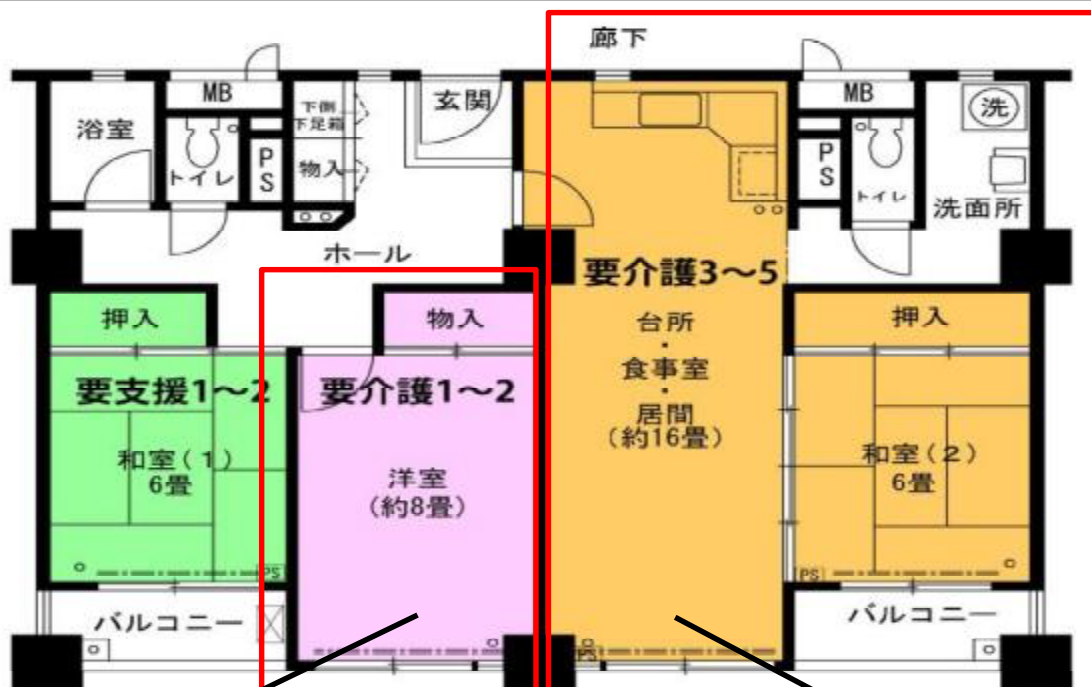
～本モデルルームに込めた想い～

家で医療や介護を受けながら生活することに、漠然とした不安や暗いイメージをお持ちの方がいらっしゃいます。病院で患者さんを支援するリハビリなどのプロがそんなイメージを払しょくし、在宅での生活を支援したいという思いから、本モデルルームを開設しました。

【コンセプト】

- 従来の生活スタイルの継続をめざした福祉用具の活用
- 広さ・間取り、改修に制限のある住宅での工夫
(穴あけ含め改修工事はしない)

監修：社会医療法人大道会



<事例>

想定する体の状態

- 左側に麻痺がある方
- 何とか歩けるが、転倒しやすい方
- 要介護度：1～2

特徴

- 工事をせず手すりを設置
- 椅子での生活を中心に考える
- 介護ベッドではなく、元のベッドを使用
- 起き上がりを助ける福祉用具を使用

<事例>

想定する体の状態

- 車いすレベルの左手片麻痺の方
- 日常の移動は車いす。介助で何とか立てる方
- 要介護度：3～5

特徴

- 寝室（和室）に介護用ベッドを設置し、家族の居住空間を妨げない
- 介護者と同居者の寝室が同じ
⇒夜間の介護が行いやすい
- 来客時はベッドを隠す事が可能